経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県　葉山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	70.69	76.45	93.26	2,244

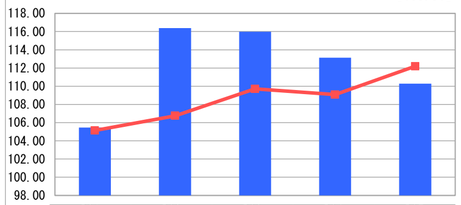
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
32,272	17.04	1,893.90
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
24,575	4.32	5,688.66

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

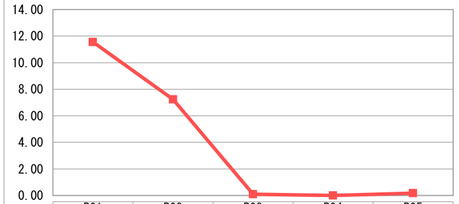
【105.91】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	105.47	116.39	115.99	113.13	110.29
平均値	105.14	106.75	109.70	109.07	112.19

②累積欠損金比率(%)

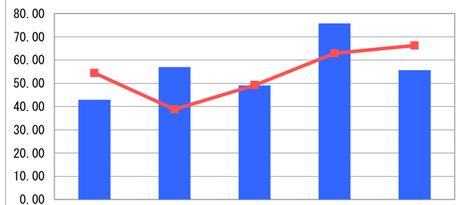
【3.03】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	11.56	7.23	0.10	0.00	0.17

③流動比率(%)

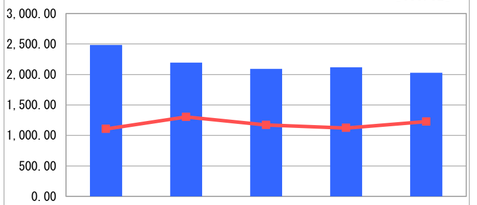
【78.43】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	42.94	56.98	49.11	75.71	55.63
平均値	54.41	38.76	49.21	62.92	66.26

④企業債残高対事業規模比率(%)

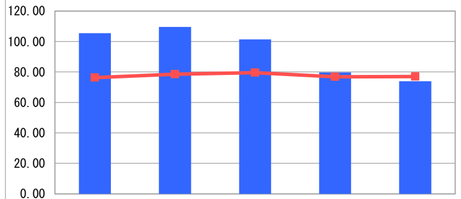
【630.82】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	2,486.28	2,194.52	2,090.99	2,118.90	2,027.39
平均値	1,105.91	1,303.55	1,172.21	1,122.71	1,225.74

⑤経費回収率(%)

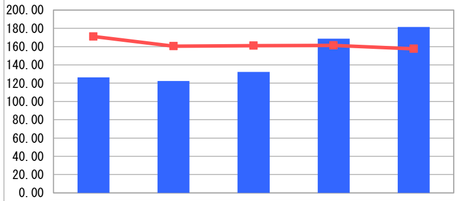
【97.81】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	105.49	109.63	101.36	79.77	73.94
平均値	76.32	78.51	79.55	76.87	77.03

⑥汚水処理原価(円)

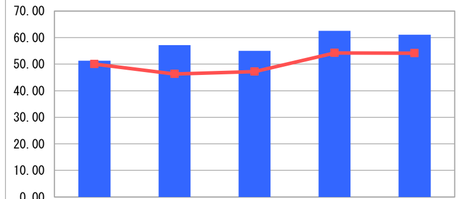
【138.75】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	126.42	122.31	132.38	168.82	181.58
平均値	171.08	160.45	161.13	161.20	157.56

⑦施設利用率(%)

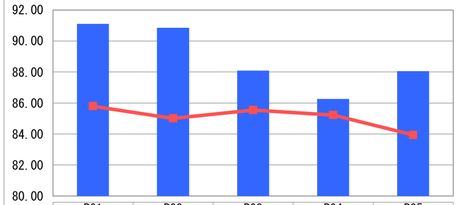
【58.94】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	51.31	57.17	55.01	62.58	61.11
平均値	50.06	46.30	47.23	54.22	54.10

⑧水洗化率(%)

【95.91】

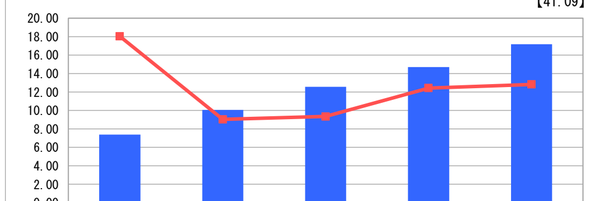


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	91.11	90.86	88.09	86.26	88.05
平均値	85.79	85.01	85.55	85.22	83.94

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

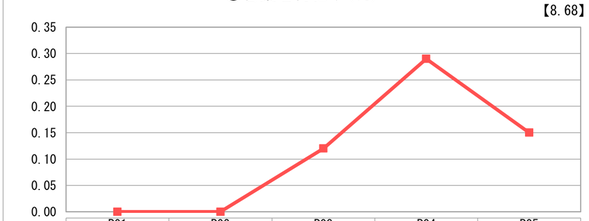
【41.09】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	7.39	10.06	12.57	14.71	17.17
平均値	18.04	9.04	9.35	12.44	12.83

②管渠老朽化率(%)

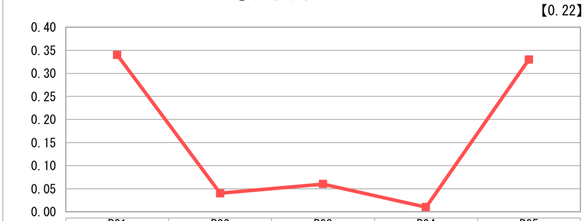
【8.68】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.12	0.29	0.15

③管渠改善率(%)

【0.22】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.34	0.04	0.06	0.01	0.33

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①100%を超えており単年度収支は黒字となっていますが、下水道使用料以外の収入に依存している状況が続いており、下水道使用料収入の確保及び経費削減に引き続き努めます。
②累積欠損金は発生していません。引き続き適正な事業運営に努めます。
③100%に届いていない状況ですが、下水道管渠の新設整備等による普及率の向上に伴い、下水道使用料収入が増加することで支払能力は向上しており、比率は改善していく見込みです。
④企業債残高の低減傾向を継続させるため、返済額と借入額の適正なバランスをふまえた計画的な建設投資に努めるとともに、下水道使用料の改訂を見据え、適正な水準への引き上げを行っていきます。
⑤昨今の電気代の高騰等による汚水処理費の増加に伴い、100%を下回っている状態であるため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努めます。
⑥類似団体より高い数値ですが、下水道整備区域の拡大により処理水量の増加は続く見込みです。将来の汚水施設の増設や改築・更新にかかる負担増もふまえ、継続した効率化やコスト削減に努めます。
⑦100%に届いていないのは、下水道の管渠整備を進めているため、現状では施設処理能力に余剰があるためであり、今後の普及率の向上に伴い増加する見込みです。
⑧類似団体平均を上回っていますが、さらなる向上に向け下水道の普及促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①主な施設として管渠・ポンプ場・処理場を有していますが、供用開始の平成10年度から整備を進めているため法定耐用年数を超過した資産の割合はまだ限定的な状況です。老朽化対策として令和２年度に策定した葉山町アセットマネジメント計画に基づき各施設・設備等の計画的な改築・更新を進めていきます。
②ー　※法定耐用年数を超過した管渠延長なし
③ー　※改善（更新・改良・修繕）管渠延長なし

全体総括

平成28年度から令和７年度末までの10年間で市街化区域の下水道整備完了を目標に管渠整備を進めているため建設事業費が高額になっています。
平成30年度から一部の管渠整備に官民連携事業を導入し工期短縮や経費低減を図りました。
令和５年度は、設計施工一括発注方式による浄化センター等の機械電気設備増設及び中央監視設備の改築を行うとともに、施設維持管理に包括的民間委託を導入し、官民連携による経費低減を図りました。
引き続き、処理区域拡大により増加する汚水処理経費に対応するため、適正な下水道使用料収入の確保と官民連携事業による経費低減に取り組み、持続的かつ安定した事業運営に努めます。